



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.hoyukai.org/>

第182号

発行:2021年6月15日

発行責任者:

特定医療法人社団 鵬友会

コロナワクチン接種施設として地域のために



フジヤマ病院 薬局長 遠藤 勝

フジヤマ病院の薬局長の遠藤です。現在、当院の薬局は常勤2名、パート2名、補助1名の計5名が働いています。薬局の業務は、外来調剤、入院調剤、注射調剤、併設2施設（介護老人保健施設リバブルケア、介護老人保健施設いかる野）の調剤等を行っています。

当院の外来患者さんは、高齢の方が多く地域的に調剤薬局が少ないこともあり100%院内処方となっています。富士宮北部にある特別養護老人ホーム長正園や社会福祉法人富士旭出学園の調剤も外来調剤で行っています。「医療法人社団鵬友会」として再スタートしてからは近隣医療施設との連携も上手くいくようになり徐々に入院患者が増えそれに伴い外来患者も増えてきてコロナ禍ではありますが通常業務だけで忙しい毎日です。

富士宮市ではクラスター発生もなく新規患者数は少ないですが、静岡県内ではクラスターの発生している市町村が複数あり直近3日間の新規感染者数は339人で過去最多となっています（5月16日現在）。全国的に感染状況が悪化している状況ではありますが先日、横浜市立大学の研究チームが「ファイザー製ワクチン接種者（111名を対象）の約9割が流行中の変異株に対する中和抗体を保有することを明らかにした」との報道もあり新型コロナワクチンの効果に期待が高まっていると思われます。

富士宮市でも4月より医療従事者の新型コロナワクチン接種が始まり、5月中には2回目の接種も終了します。そして、富士宮市は7月までに後期高齢者（約6000名）のワクチン接種を終わらせるため、ワ

クチン集団接種会場増設も行われました。それに伴い富士宮市薬剤師会より薬剤師派遣依頼を受けていて（集団接種会場でのワクチン希釈及び注射器薬液充填作業）医療職の一員として地域に貢献できる機会が増えてきました。5月23日より75歳以上の高齢者の集団接種が始まり、6月に入ると高齢者への個別接種も開始されます。当院も個別接種施設として受け入れ体制を整え、休日以外は毎日接種する予定（週152名）になっています。

それから、富士宮市立病院に続き自治体より新型コロナワクチンの基本型接種施設を任されることとなり富士宮北部地域の拠点として重責を担うことになりました。新たに薬局の業務として新型コロナワクチンの保管・管理・連携型/サテライト型接種施設へのワクチン小分け配送準備などが増えるので、看護部や事務部など他部署の協力を得て4月より準備を進めてきました。5月下旬にファイザー社製新型コロナワクチンが入荷され、6月より週2回富士宮市内約半数近くの18接種施設への小分け配送準備業務が始まります。薬局だけでは対応しきれないので他部署の職員にも協力して頂きながら頑張りたいと思っています。

高齢者へのワクチン接種が終了すると次には基礎疾患のある方や一般成人へワクチン接種が始まり全ての人にワクチン接種が終わるまでには時間がかかりますが、コロナワクチンの効果に期待をしながら基本型接種施設の一員として地域の為に貢献できるように他の職員と共に努力していきたいと思っています。



新型コロナワクチンQ&A

新型コロナワクチン接種が医療従事者、高齢者に行われていますが、今回、新型コロナワクチンについての疑問等を厚生省ホームページからQ&A方式で抜粋させていただきました。



Q どの会社のワクチンが一番効果がありますか。



A 現在、日本ではファイザー社とモデルナ社のワクチンが、予防接種法における接種の対象となっています。有効性については、いずれのワクチンも、海外で数万人単位の大規模な臨床試験が実施されており、発症予防効果は、ファイザー社のワクチンが約95%、モデルナ社のワクチンが約94%と、高い効果が確認されています。



Q 筋肉注射とはどのような注射でしょうか。痛いのでしょうか。



A 筋肉注射とは、ワクチンなどの医薬品を皮下脂肪の奥にある筋肉内に直接注射する方法のことを指します。ファイザー社のワクチン及びモデルナ社のワクチンは、通常、肩の筋肉（三角筋）に接種を行います。筋肉は皮膚と比べて痛みを感じる神経が少ないともいわれており、皮下注射と比べて痛みが強いという証拠はありません。世界的にはインフルエンザワクチンなども、筋肉注射で行われている例が多くあります。皮下注射と筋肉注射を比べた臨床研究では、筋肉注射は皮下注射に比べてむしろ、注射した部位の痛みといった局所反応が少なかったという報告もあります。



Q これまでに認められている副反応にはどのようなものがありますか。



A 現在、日本で接種が進められている新型コロナワクチンでは、接種後に注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢、発熱等がみられることがあります。こうした症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。

また、稀な頻度でアナフィラキシー（急性のアレルギー反応）が発生したことが報告されています。もし、アナフィラキシーが起きたときには、接種会場や医療機関ですぐに治療を行うことになります。

発現割合	症状
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛
10～50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ
1～10%	吐き気、嘔吐

コミナティ®(ファイザー社) 添付文書より改編



Q 年齢によって、ワクチンの効果や副反応に違いはありますか。



A 従来ワクチンでは、高齢者は若い方に比べてワクチンの効果が劣る場合があります。しかし、日本で承認されたファイザー社のワクチンでは、大規模な臨床試験やイスラエルの実社会での疫学研究において、高齢者に対しても9割以上の発症予防効果があることが報告されています。また、モデルナ社のワクチンについても、海外での臨床試験において、65歳以上で約9割のワクチン有効率が報告されています。

一方、副反応については、接種部位の局所の副反応も、発熱や倦怠感、頭痛などの全身性の副反応も、若年者より高齢者の方が少し頻度が低いことが報告されています。